

長崎まちづくりのランドデザイン

第5回検討委員会

【議案】

長崎まちづくりのランドデザイン2050（案）

令和7年12月25日
長崎市まちづくり部

- 1 素案への主なご意見
- 2 パブリック・コメントで寄せられた主なご意見
- 3 長崎まちづくりのランドデザイン2050（案）
- 4 今後のスケジュール



1 素案への主なご意見

2 パブリック・コメントで寄せられた主なご意見

3 長崎まちづくりのランドデザイン2050（案）

4 今後のスケジュール



(1) 素案に係る意見聴取

- 第4回検討委員会：令和7年7月16日開催
- 市民説明会：令和7年8月23日～9月1日の間で計8回開催
- 意見募集：令和7年8月23日～9月30日

(2) 主なご意見と事務局の考え方

- 2050年に向けたまちづくりの取組み内容について、長崎の歴史的背景に基づき長崎らしさを反映させるなど、もう少し長崎らしさを打ち出す必要があるように感じた。【検討委員会】

⇒「1-1：私たちが目指す「みらいの長崎」」（2ページ）で、長崎独自の特性や資源を活かしたまちづくりを進める必要があることを記載します。

- まちづくりに投じられる予算が圧縮されるなど、危機感を認識できるシナリオを記載し、様々な関係者と連携・協働したまちづくりを展開する必要性がわかるよう記載すべき。【検討委員会】
- 本編にも将来人口推移を記載するなど、長崎市がどのように変わっていくのか分かるようにしてほしい。【市民説明会】

⇒「1-3：長崎市が直面する危機と変化」（4ページ）を追加します。

(2) 主なご意見と事務局の考え方（続き）

- 取組みの推進に向けた各主体の役割や取組みのポイントなどを、具体的かつ分かりやすく明示してほしい。【検討委員会】
- 市民や民間事業者が、具体的にどのようにまちづくりに取組めばよいかわからない。【市民説明会・意見募集】

⇒「第3章 미래の長崎に向けたまちづくり」（9ページ～28ページ）に、取組みのポイントや各主体の役割を記載します。

- これからのまちづくりを担う世代へのアプローチが大切になるため、人づくりを意識したランドデザインにして欲しい。【検討委員会】
- これからのまちづくりを担う若い世代の意見をしっかりと聞きながら検討や取組みを進める必要がある。【市民説明会】

⇒まちづくりの担い手確保に係る取組みイメージを掲載するとともに、「4-1：これからの展開」に「若い世代の意見を積極的に聞き、気軽に参画できることを目指す」旨を記載します。

1 素案への主なご意見

2 パブリック・コメントで寄せられた主なご意見

3 長崎まちづくりのランドデザイン2050（案）

4 今後のスケジュール

(1) パブリック・コメントの概要

- **募集期間**：令和7年11月7日～令和7年12月6日
- **資 料**：
【本編】長崎まちづくりのグランドデザイン2050（原案）
【参考資料】長崎まちづくりのグランドデザイン2050資料・データ集（原案）
- **意見総数**：40件（10人）
- **結果公表**：令和8年1月末（予定）

パブリック・コメントの詳細は、資料⑥をご参照ください。

本日は、主なご意見と事務局の考え方についてご説明します。



(2) 主なご意見と事務局の考え方（抜粋）

ご意見

全文は「資料⑥」2ページ参照

- 体育館や公共の施設をもっと市民や子供が遊べる場所に

全天候で子どもたちや市民が集える場所として、体育館や公共の施設をもっと開放してよいと思います。体育館の無料開放や、現在の県庁のように休日の無料開放の市役所や支所でもやってよいと思います。

事務局の考え方

- 集いの場や遊び場の確保に向けては、既存施設の有効活用や、予約の仕方なども含めた利用しやすい運用は重要な要素であると考えていますので、いただいたご意見を踏まえ、本編15ページ「ニーズを反映した憩い・遊び場の確保」を次のとおり修正します。

【修正前】

小規模公園等を、住民ニーズを踏まえ再編・改善するなど、満足度が高い憩いや遊び場の確保

【修正後】

既存施設を有効活用するとともに、小規模公園などを住民ニーズに基づいて再編・改善するなど、満足度が高い憩いや遊び場の確保

(2) 主なご意見と事務局の考え方（抜粋）

ご意見

全文は「資料⑥」4ページ参照

● 観光だけに頼らない経済の形へ

長崎では観光が重要な産業であることは確かですが、それだけに依存する構造は不安定かなと思いました。観光で得た収益を地域産業の育成や教育に還元する仕組み、地場企業と若者をつなぐ実践型プログラムなど、“挑戦が連鎖する地域経済”をグランドデザインに明確に示してほしいです。

事務局の考え方

- グランドデザインは、土地利用・道路・公共交通といった「基盤づくり」と、まちの質を高めるための「仕組みづくり」から、経済再生・定住促進につながる長期的なまちづくりの方向性を示すこととしております。
- また、経済分野における計画については、第五次長崎市経済成長戦略を策定し、「戦略的な企業誘致やスタートアップなどのより競争力のある成長分野を育成する。」などを基本目標として掲げ、関連する様々な取組を行っています。同戦略に基づく取組として、例えば、若者の地元就職と定着の促進を目的に、大学等と連携して学生と企業の交流の場を創出する「NAGASAKI KAKKI」などがあり、交流機会の創出に努めております。さらに、挑戦が連鎖する地域経済については、例えば、宿泊税を活用した観光産業を担う人材育成を目的とした小・中学生向けの「観光教育出前授業」の実施を行うなど観光で得た収益を還元する取組を行っているところです。
- いただいたご意見につきましては、関係所属に共有するとともに、今後、各施策を検討する際の参考にさせていただきます。

(2) 主なご意見と事務局の考え方（抜粋）

ご意見

全文は「資料⑥」5ページ参照

● 若者が関われる政策設計を

「若者に選ばれるまち」を目指すなら、若者が“政策づくりの当事者”として関われる場を整えることが不可欠です。小さな試みを、行政や地域企業が後押しできる体制があれば、若者はもっと自信をもって行動できます。「実証プロジェクト型まちづくり」の仕組みづくりを提案します。

事務局の考え方

- 小さな試みの後押しですが、社会実験を含めた小さな行動を積み上げ検証・改善し、実行につなげるアプローチが重要であると考え、本編32ページに「実践的なアプローチ」を記載しているところです。
- なお、若者が政策づくりの当事者として関われる場が不可欠であるとのご意見を踏まえ、本編32ページ「連携・協働・共創によるまちづくり」を次のとおり修正いたします。

【修正前】

将来のまちづくりを担う若い世代の意見を積極的に聞き、気軽に参画できることを目指します。

【修正後】

将来のまちづくりを担う若い世代の意見を積極的に聞き、**当事者として**気軽に参画できることを目指します。

(2) 主なご意見と事務局の考え方（抜粋）

ご意見

全文は「資料⑥」7ページ参照

- 「様々な方々の強み」というものがどういうものなのか明確に書くべきです。これだとこの後続く、「まちづくりの方向性を示し、オール長崎でまちづくりを進めていくことを目指すため策定」とあるが、この位置づけは本当に正しいのか疑問に感じます。この目指す方向性や、様々な主体が、抱えている課題を解決しながら、どういう強みを活かしていけるのかまで提起しなければ、このグランドデザインの根っこ自体にブレを感じ、残念ながら長崎の問題をただ並べているようにしか見えないため、根っこの修正・見直しを要請したいです。

事務局の考え方

- 経済再生・定住促進につながるまちづくりの取組みや多様化・複雑化する都市課題に対応するにあたっては、市民をはじめ様々な立場の関係者が連携・協働してまちづくりに取組むとともに、それぞれが持つ強みや主体性を生かしていくことが重要であると考えています。このため、グランドデザインは、オール長崎で経済再生・定住促進につながるまちづくりを推進することを目的に、長期的なまちづくりの方向性を共有するとともに、まちづくりの取組みをイメージしやすくまとめています。
- 「様々な方々の強み」については、地域の状況や課題解決に向けてどのような施策を展開するかで異なり、課題解決に取組む中で明らかになってくるものと考えており、グランドデザインでは、それぞれの取組みイメージの中で、取組みのポイントや各主体の役割などを示しています。

(2) 主なご意見と事務局の考え方（抜粋）

ご意見

全文は「資料⑥」9ページ参照

- 魅力的なコンテンツとはこういったものをイメージしているのが不明確です。（本編17ページ「②地域の魅力に触れられる場の確保」に関するご意見）

事務局の考え方

- 「魅力的なコンテンツ」は地域特有の資源を活用したものを想定しており、例えば、自然を活用したアクティビティ、地域の食や文化、歴史的資源などに触れられる場を確保することで、周辺部へ訪れたいと思わせる魅力を創出しようとするものです。地域資源を活用した魅力的なコンテンツは様々なものが想定されることから、記載の表現としていますが、いただいたご意見を踏まえ、次のとおり記載内容を修正します。

【修正前】

魅力的なコンテンツ提供や地域活力を引き出す取組み

【修正後】

地域特有の資源を活用した魅力的なコンテンツ提供や地域活力を引き出す取組み

(2) 主なご意見と事務局の考え方（抜粋）

ご意見

全文は「資料⑥」10ページ参照

- グランドデザインはまちづくりの方針を市民と共有するものなのに、すべてにあくまで一例であるだけ、と書いており、結局これから長崎市が目指していきたいこと、やりたいことの具体像がまとまって見えてこず、本来の目的にそぐわないようになっているように見える。
- 具体例が多すぎて、情報が広く浅く、これからの方針がちゃんと伝わらない。具体例自体は少なくてもいいから、あくまでもやる理由や目的などをちゃんと追った上で、本当に長崎市がやりたいことと一致しているような具体例、事例のみ取り上げ、説明、記載するべきではないか。

事務局の考え方

- グランドデザインは、オール長崎で経済再生・定住促進につながるまちづくりを推進することを目的に、長期的なまちづくりの方向性を共有するとともに、まちづくりの取組みをイメージしやすくまとめたものです。
- このため、市民や様々な立場の関係者の方々に取組みのイメージを具体的かつわかりやすく示す必要があることから、現時点で本市においても取組みの実現可能性がある様々な事例やイメージを用いてまとめています。
- なお、各取組みの方向性に記載する取組みイメージにつきましては、様々な取組み手法があること、時代や社会情勢の変化に伴い手法も変化することが想定されるため、一例として記載しているものです。



- 1 素案への主なご意見
- 2 パブリック・コメントで寄せられた主なご意見
- 3 長崎まちづくりのランドデザイン2050（案）**
- 4 今後のスケジュール



「資料④、⑤」をご参照ください。

- 1 素案への主なご意見
- 2 パブリック・コメントで寄せられた主なご意見
- 3 長崎まちづくりのランドデザイン2050（案）
- 4 今後のスケジュール**

時 期	内 容	議 題
令和6年7月26日	第1回委員会	グランドデザインの概要等
令和6年11月22日	第2回委員会	目指すまちの状態と取組みの考え方、課題
令和7年2月18日	第3回委員会	まちづくりの理念・方針（案） 取組みの方向性（たたき台）
令和7年7月16日	第4回委員会	グランドデザイン（素案）
令和7年 11月7日～12月6日	パブリック・コメント	グランドデザイン（原案）
令和7年12月25日	第5回委員会	グランドデザイン（案）
令和8年1月頃	策定・公表（予定）	—

※進捗状況により変更となる場合があります。